

# アクション

NPO法人「21世紀水倶楽部」の会員になった。倶楽部のパンフレットによると、「本会は、水と環境に関し、会員同士の情報交換を通じ、科学的知識に基づいた正しい情報を全国に発信します」とある。年会費は6千円。活動の種類は、目標を達成するため、

- (1) 環境の保全を図る活動、(2) 科学技術の振興を図る活動と
- (3) 国際協力の活動とある。

何となく面白そうではないか。

でも、倶楽部のホームページを覗いてみると、水倶楽部と称しながら、下水道のテーマが殆どだ。それもそのはず、役員9名のうち、6名が国土交通省下水道部の出身者だ。会員総数46名、存じ上げて

いる方は、ほとんど下水道の関係者だ。

下水道の関係者が立ち上げた組織だから、下水道の人が多いのはうなずけるが、水倶楽部と称するからには、何も遠慮することはない。水道も含めて水問題について、堂々と情報交換をすれば良い。水

ある。この会は、下水道の歴史や文化を発掘し研究しているが、水は上流から下流に流れ、下水の元になる水は、水道、井戸等が水源になっているので、上下水道が自

ずと一貫した研究対象になる。上下水道の関係者が、バラバラでは、上下水道

## NPOで上下水道の交流を

—坂本 弘道—

道の関係者も会員となるよう勧誘することだ。含めて、まだまだだ。

小生の友人が立ち上げた「日本下水文化研究会」は、下水道の関係者のみならず広く一般の人も入待したい。

している。小生は同研究会が主催するシンポジウムのパネラーになったり、懇親会に出席したことが

では、上下水道一緒に組織になったところもみられるが、国レベルではOBを

員